

日本共産党

こんにちはは 市会議員
南畑さち代 です

No. 74
2017・5・28
連絡先
453-7758

いずみ山系の

巨大太陽光発電を考える会 結成！

5月13日(土)、千手川を挟んで計画されている2つのメガソーラー建設に反対する住民等が「いずみ山系の巨大太陽光発電を考える会」を結成しました。

六十谷・直川・園部地域と直川・府中地域のメガソーラー建設計画は、2つ合わせると甲子園球場の53倍もの広さとなり、隣接する地域は土砂災害特別危険地域等に指定されています。昨年からの事業者による説明会が開かれてきましたが、広範な山林伐採による保水力の低下や自然破壊が懸念されます。

また、参加者からは「昭和27年、千手川が大洪水となり、2人の方が流され死亡した。戦争で山林が伐採されたからだ」「計画地には登山道がいくつもある。景観が素晴らしいことを広げたい」「太陽光はいいイメージがある。和歌山はなにを

また、参加者からは「昭和27年、千手川が大洪水となり、2人の方が流され死亡した。戦争で山林が伐採されたからだ」「計画地には登山道がいくつもある。景観が素晴らしいことを広げたい」「太陽光はいいイメージがある。和歌山はなにを



日本共産党 和歌山市会議員
南畑 さち代

また、参加者からは「昭和27年、千手川が大洪水となり、2人の方が流され死亡した。戦争で山林が伐採されたからだ」「計画地には登山道がいくつもある。景観が素晴らしいことを広げたい」「太陽光はいいイメージがある。和歌山はなにを



ルリビタキ(千手川で)

結成総会の様子



やっても大丈夫と思われる。企業のおごりがある」「畑地域の井戸水が涸れたり、汚れたりしたら誰が責任をとるのか」「千手川の下流も危険なのに説明会がない」など多くの意見が出されました。「会」の結成前から取り組まれた知事への署名は、すでに5月13日現在で1410筆集まっています。結成総会の会場内には千手川に飛来するカワセミやルリビタキなどの野鳥の写真が展示され、改めて貴重な自然の価値を認識しました。今後さらに署名を広げることや学習の取り組みが提案されました。多くの皆さんの力で計画を断念させましょう！



畑の建設産廃

「十分な協議と懸念の払拭を」と市が県に意見提出

業者は4月12日、和歌山県に林地開発の事前協議申請書を提出し、県として和歌山市に開発行為の事前協議の意見照会がありました。市は5月8日付で意見書を出しました。その内容が情報開示で明らかになりました。意見書の中には、各種法令に関する事前協議等についての意見には、例えば、耕地課は「洪水調整池を設置する場合、南谷池の用水機能の保全の観点から当該との

協議が必要。貯水量などについては、旧慣使用权を有する地元水利組合の同意を得る必要がある」等、その他8課が意見を記載しています。また、地元住民への丁寧な対応については、産業廃棄物課の「関係住民は要望書において『データの提示がないなど業者の不誠実な説明では不安の払拭には至らなかった等』を主張している。これらを踏まえ必要な対応をする(裏面に続く)



市と懇談する党・市議団

国保・年金課が4月14日付で国民健康保険料の滞納世帯に対し「移管最終催告書」を市長名で送りつけました。4月27日を納付期限と定め、「全額完納しない場合は債権回収対策課に移管する」というものです。4月20日、国民健康保険料を滞納している世帯への不適切な対応に対し、党・市議団は市長宛てに改善を求めて申し入れをしました。

「国保料分納世帯にいきなり通知」

(表面から続く)「こと」や農林水産課からも意見が出されています。懸念の払拭については農業委員会の「農業用水の汚染や農業生産環境に悪影響を及ぼす懸念がある」を始め、6課から提出されています。さらに表書きには、「事前協議申請者に対して関係各課及び関係団体等と十分な協

議を行うよう、住民に十分な説明を行うなど丁寧な対応をするよう、また、山口連合自治会から『山口地区に計画されている安定型産業廃棄物最終処分場問題調査報告書』が提出され、林地開発に伴う山地災害、土石流や洪水の危険性等を懸念する意見があることから懸念を払拭するよう指

市議団に、国保料を滞納している方から相談が続きました。滞納については、担当課と相談の上分割納付をしているにもかかわらず、4月27日までに全額の支払いを促す文書が送られてきたというものです。分割納付は滞納世帯の方と担当課が話し合いで決めて進めていることであり、誠実に納付を履行している世帯も含め、一律にこのような措置を行うことは、あまりにも

導して下さい」等の記載があります。これらの意見を踏まえ業者がどう対応するのか、反対運動の闘いは山場にさしかかっています。地元の方は今も毎月第1日曜、和歌山駅で署名に取り組んでいます。次回は6月4日、10時半からです。多くの方のご支援をお願いします。

乱暴なやり方だとして、日本共産党市議団として以下の点を申し入れました。

- ①このような乱暴なやり方を、誰がいつどのような判断をしたのかを明らかにされたい。
- ②このようなやり方は撤回し、滞納世帯の生活状況を十分考慮した取り組みに戻されたい。
- ③方針転換をするならば、滞納世帯に対し、ていねいな説明を行い、理解と納得を得るようにされたい。

以上3点について文書回答を併せて求めました。申し入れ後、4月26日に担当課から「全額納付期限を27日とはせず、延期する」と報告がありました。

和歌山中央メーデーに参加しました



5月1日、和歌山城西の丸広場で、第88回和歌山中央メーデーが開かれ参加しました。市議団は開会前に追いつき門で宣伝してから会場にいきました。今年は参加団

体から安倍首相の進め共謀罪に對する強い批判があらまし

さくら公園でお花見 楠見後援会



あいさつする原やすびさ氏

4月8日、楠見後援会主催で恒例のお花見をしました。雨が心配されましたが、鍋を囲んで親睦を深めました。食べ終わる頃から雨が降り出しました。日本共産党・衆院予定候補の原やすびさ氏、国会議員の奥村規子氏も参加しました。

無料生活法律相談

6月から第2、第4水曜日に変更します

日時：6月14日(水)、28日(水)
午後6時～7時

会場：河西診療所組合員ホール
申込：南畑幸代まで

無料生活相談

日時：毎週木曜日、午前10時～12時
(電話での相談は常時行っています)

会場：南畑幸代生活相談所
TEL 453-3418、453-7758(自宅)
和歌山市善明寺411-4

相談実施中は看板を出しています

お問い合わせは南畑幸代まで
435-1113 (日本共産党市議団直通)

3月～4月の生活相談件数

住宅：1件	道路：4件	環境：1件
医療：1件	生活保護：3件	年金：1件
法律：1件	障害者関連：2件	その他：3件